【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公開番号】特開2002-45190(P2002-45190A)
【公開日】平成14年2月12日(2002.2.12)
【出願番号】特願2001-172415(P2001-172415)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ１２Ｎ　15/09
　Ａ６１Ｋ　38/00
　Ａ６１Ｋ　48/00
　Ａ６１Ｐ　35/00
【ＦＩ】
　Ｃ１２Ｎ　15/00　　ＺＮＡＡ
　Ａ６１Ｋ　48/00
　Ａ６１Ｐ　35/00
　Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月5日(2004.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の(a)または(b)からなるポリペプチド：
(a)配列番号：28または31のいずれかで示されるアミノ酸配列からなるポリペプチド、
(b)配列番号：28または31のいずれかで示されるアミノ酸配列において、一部のアミノ酸が置換、欠失または付加されたアミノ酸配列からなるポリペプチドであって且つPI4キナーゼ活性を有するポリペプチド。
【請求項２】
以下の(c)または(d)であるDNA配列：
(c)配列番号：29または32のいずれかで示されるDNA配列、またはそれらの相補鎖、
(d)上記(c)のDNA配列と、0.1×SSC/0.05%SDS、50℃の洗浄条件でハイブリダイズし且つPI4キナーゼ活性を有するポリペプチドを発現可能なDNA配列。
【請求項３】
請求項2に記載のDNA配列を含有する発現ベクター。
【請求項４】
請求項3に記載の発現ベクターを含有する形質転換体。
【請求項５】
請求項4に記載の形質転換体を培養し、PI4キナーゼ活性を有するポリペプチドを採取することを特徴とするヒトPI4キナーゼ活性を有するポリペプチドの製造方法。
【請求項６】
請求項5に記載の製造方法によって得られる組換え体ポリペプチド。
【請求項７】
請求項1に記載のポリペプチドまたは請求項6に記載の組換え体ポリペプチドに結合する抗体。